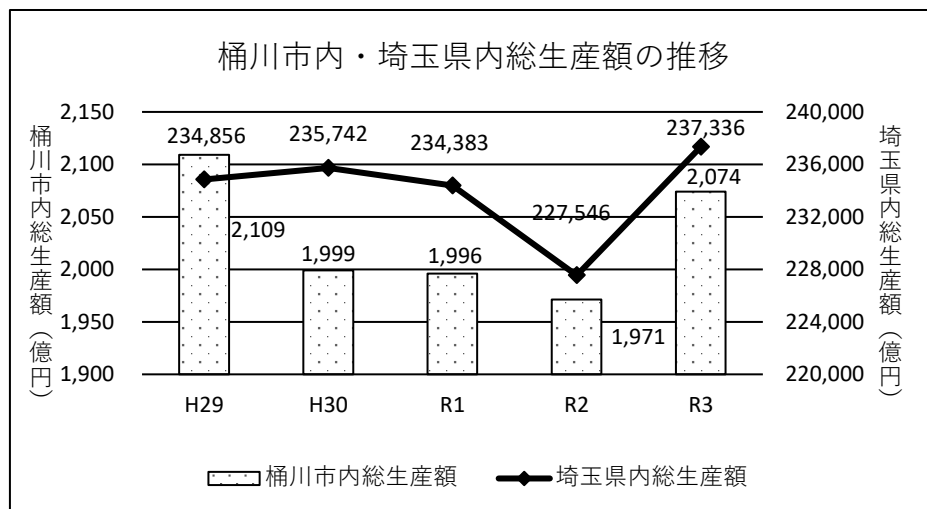


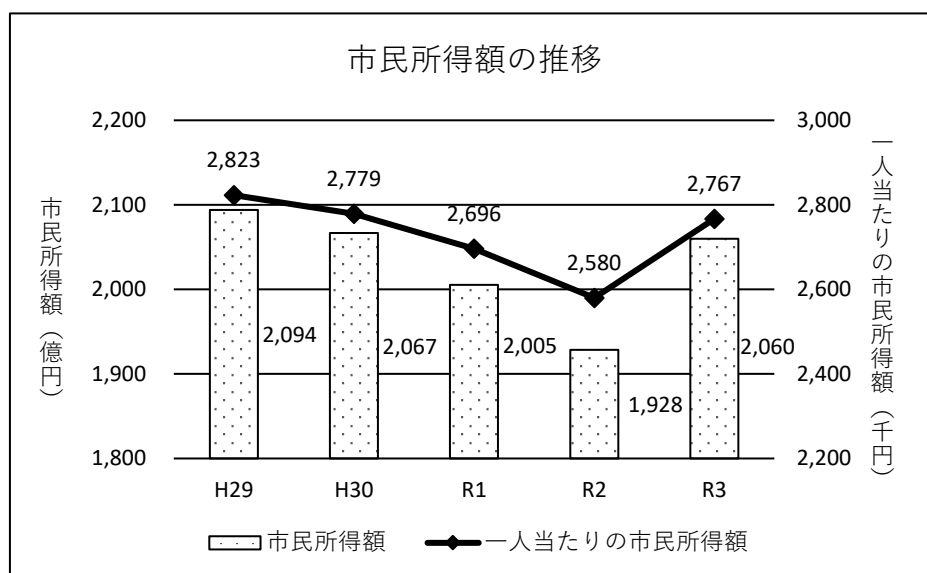
第 3 章 桶川市の商工業の現況

1 桶川市の現状

(1) 市内総生産



出典：埼玉県「市町村民経済計算」

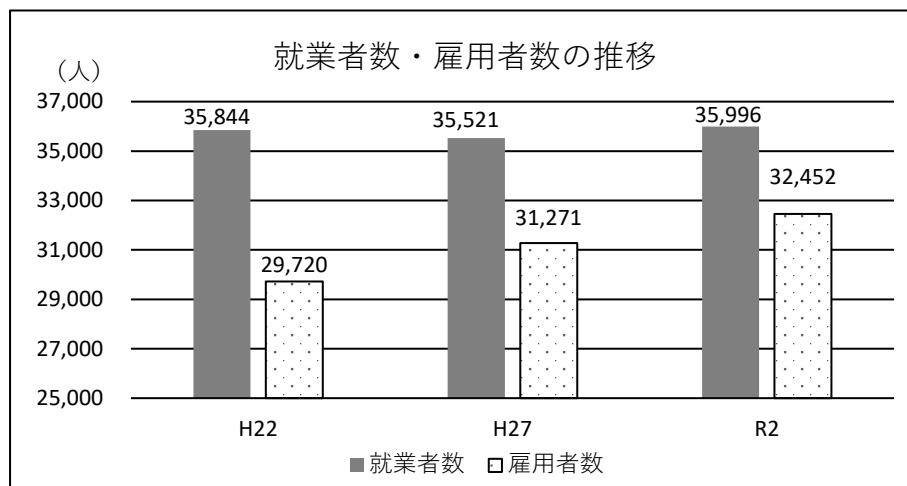


出典：埼玉県「市町村民経済計算」

本市の市内総生産は減少の傾向がみられ、平成29年の2,109億円から令和2年には1,971億円と、138億円減少した。

市民所得額においても、平成29年は2,094億円、令和2年は1,928億円と大きく減少した(△166億円)。令和2年の大きな減少は新型コロナウイルス感染症の流行の影響であることが考えられるが、市内総生産、市民所得額のどちらにおいても令和3年は回復した。

(2) 就業・雇用



出典：総務省「国勢調査」

就業者数は平成22年が3万5,844人、令和2年が3万5,996人と横ばいで推移している。

雇用者数においては、平成22年が2万9,720人、令和2年が3万2,452人と上昇の傾向にある。

※就業者とは、収入を伴う仕事をしている者

※雇用者とは、就業者のうち、企業等に雇われている者

(3) 産業構造

(件)

業種	H28	R3	増減
農業、林業	1	1	0
漁業	-	-	-
鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	-
建設業	236	240	4
製造業	188	162	△26
電気・ガス・熱供給・水道業	2	3	1
情報通信業	15	16	1
運輸業、郵便業	80	79	△1
卸売業、小売業	558	499	△59
金融業、保険業	35	33	△2
不動産業、物品賃貸業	156	182	26
学術研究、専門・技術サービス業	89	84	△5
宿泊業、飲食サービス業	225	216	△9
生活関連サービス業、娯楽業	275	240	△35
教育、学習支援業	106	128	22
医療、福祉	186	218	32
複合サービス事業	6	8	2
サービス業（他に分類されないもの）	95	119	24
合計	2253	2228	△25

出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査（H28・R3）」

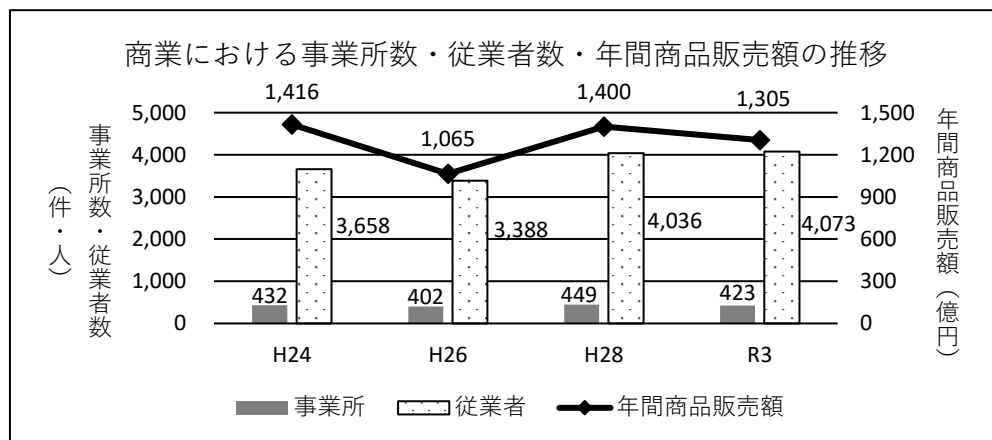
本市の産業は、卸売業、小売業が全事業所数の約2割を占めている。

平成28年と令和3年を比較すると、卸売業、小売業が大きく減少しており（△59件）、医療、福祉業が大きく増加している（＋32件）。

全体の事業所数は25件（減少率1.11%）減少している。

2 桶川市の商業の概況

(1) 商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移

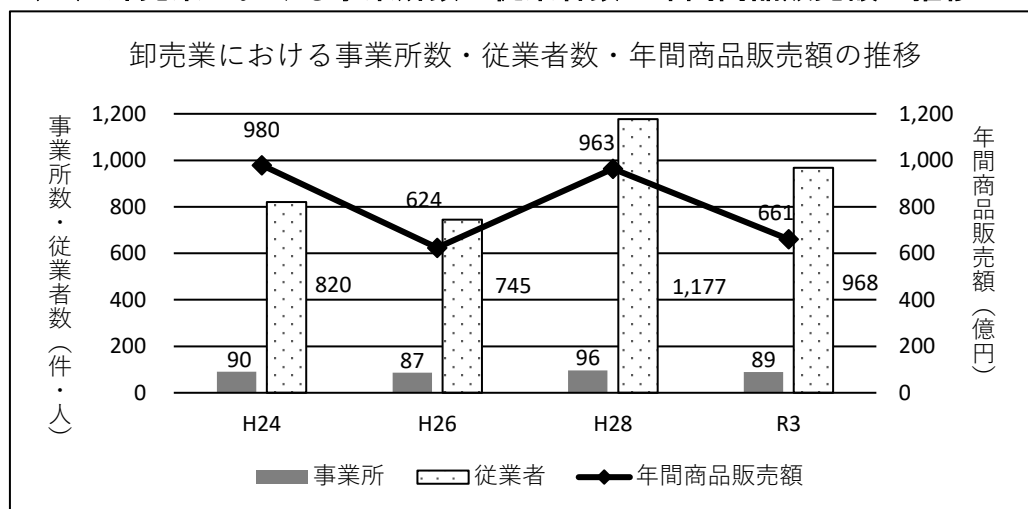


出典：埼玉県「商業統計調査 (H26)」 総務省・経済産業省「経済センサス - 活動調査 (H24・H28・R3)」

商業の事業所数は、平成24年に432件、令和3年で423件と横ばいで推移している。

また、従業者数は平成26年に3,388人と減少しているが、平成28年に4,036人と回復。年間商品販売額も平成26年は1,065億円と減少するも、平成28年は1,400億円と上昇し、その後横ばいを保っている。

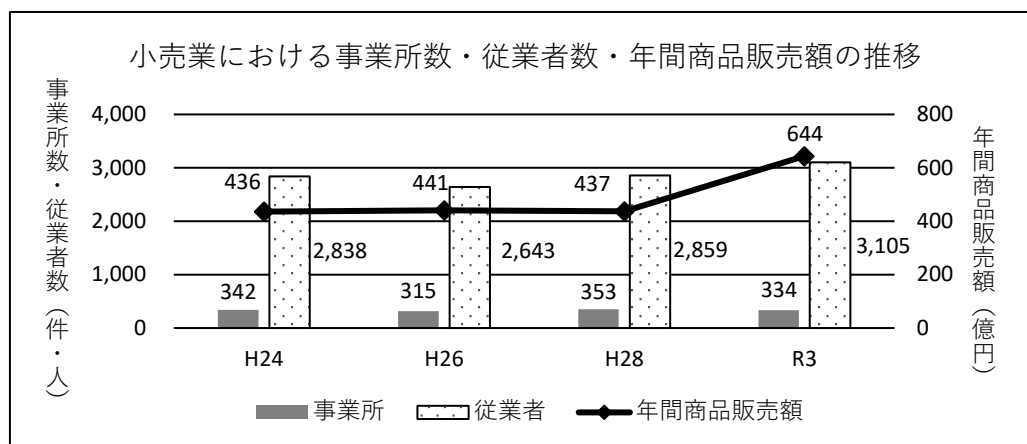
(2) 卸売業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



出典：埼玉県「商業統計調査 (H26)」 総務省・経済産業省「経済センサス - 活動調査 (H24・H28・R3)」

卸売業の事業所数は横ばいで推移しており、令和3年は89件である。従業者数及び年間商品販売額は年によって大きく変動している。

(3) 小売業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



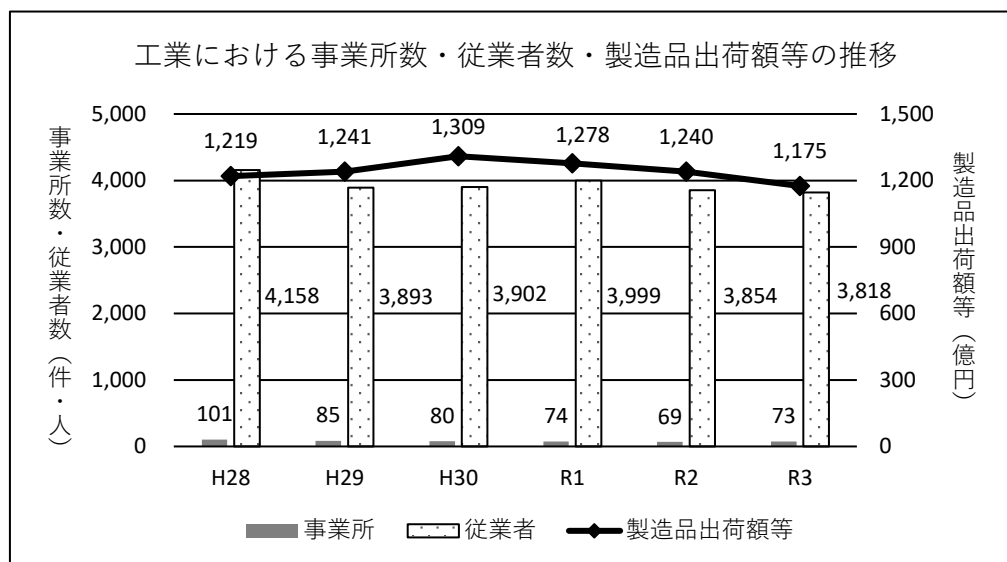
出典：埼玉県「商業統計調査 (H26)」 総務省・経済産業省「経済センサス - 活動調査 (H24・H28・R3)」

小売業の事業所数は横ばいで推移しており、令和3年は334件である。

従業者数及び年間商品販売額は平成28年から令和3年にかけて増加し、令和3年の従業者数は3,105人、年間商品販売額は、平成28年の437億円から令和3年には644億円（増加率47.4%）と大きく増加している。

3 桶川市の工業の概況

(1) 工業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



出典：経済産業省「工業統計調査 (H29・H30・R1・R2)」 総務省・経済産業省「経済センサス - 活動調査 (H28・R3)」

工業における事業所数、事業者数及び製造品出荷額等はいずれも減少傾向にあり、事業所数においては、平成28年は101件であったが、令和3年は73件と減少している。（減少率27.7%）